

令和6年度第2回朝霞市廃棄物減量等推進審議会 次第

日時：令和6年11月13日（水）

午後2時から

場所：リサイクルプラザ3階活動室

1 開 会

2 議 題

- （1）リサイクルプラザの事業再構築案について
- （2）ごみ処理広域化事業の進捗について
- （3）その他

3 閉 会

<資料>

資料1 リサイクルプラザ事業再構築案

資料2 ごみ広域処理施設整備・運営事業の落札者の決定について

リサイクルプラザ事業再構築案

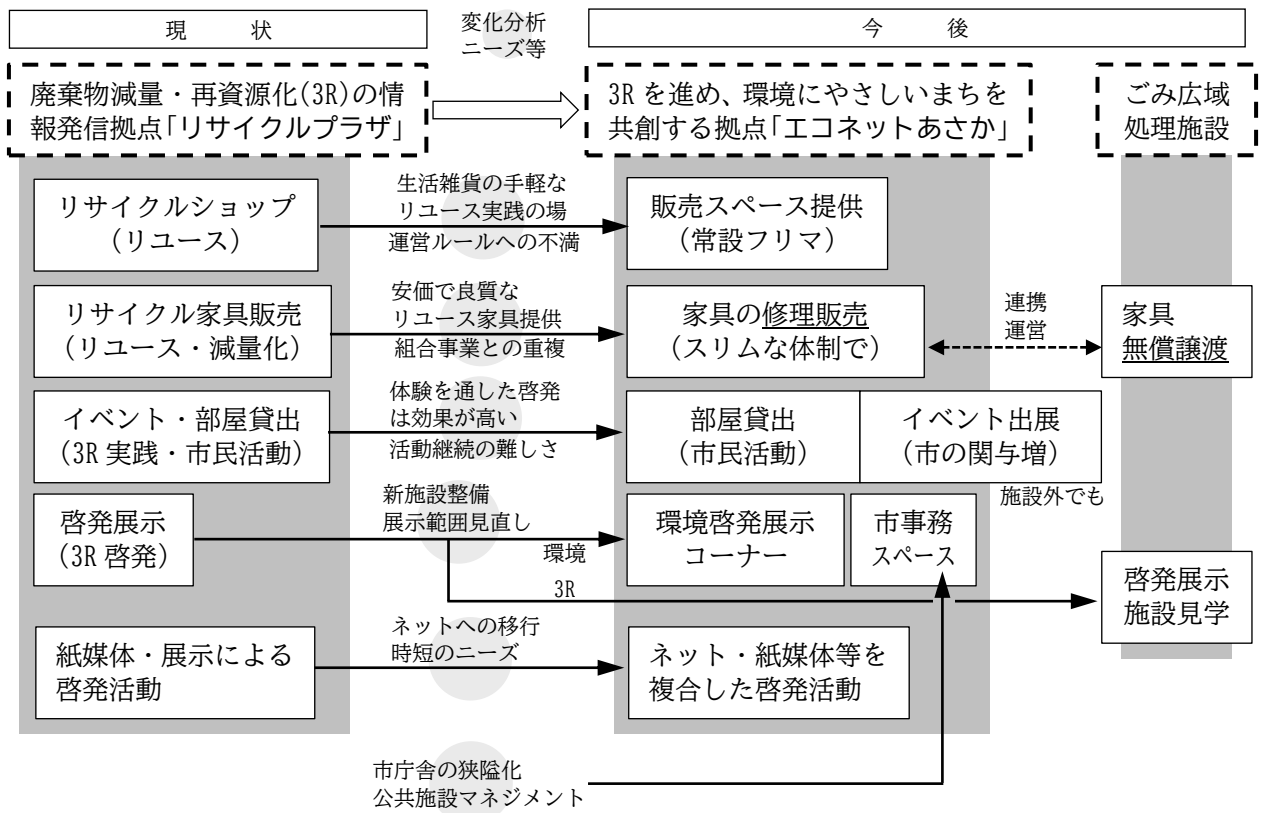
1 市民アンケート結果

視 点	集計結果	傾 向
来館者の属性	40 歳代以上が 95% 月 1 回以上来館が 77%	3 R に関心を持った高齢層の市民が、リサイクルショップ利用目的で繰り返し来館している。
来館目的	ショップ 58% 家具 17%	
ごみ課題への 関心	8 割以上が関心あり 10 年前に比べ比率上昇	
【ショップ】		
メリット	継続して利用、公営、自宅近隣、現物確認可、安価が上位	通いなれた店として利用されているが、出品時の不満が大きい。 （出品ルールの制約が多い）
デメリット	出品時の制限、品揃え悪いが上位	
【家具】 メリット	継続して利用、公営、現物確認可、安価が上位	現物確認できて安価な点が支持されている。
市への要望	フリマ・バザー開催 47% 情報提供・支援 42%	フリーマーケット、バザーの開催が要望されている。
情報入手経路	広報・回覧が減少 ネット経由が増加	3 R の情報提供が求められており、ネット経由を求める声が増している。

2 今後の方向性

事 業	方 向 性
リサイクルショップ	民間の得意分野は、民間に任せる。
	フリーマーケットのような形態へ移行する。
啓発展示	新施設へ移行する。
3 R の啓発活動	既に人が集まっているイベントに参加して啓発を展開する。
	広報・インターネット等の媒体ルートへ移行する。
	コンパクトで効率よい事業展開とする。

3 事業再構築案



4 スケジュール案

事 業	R7	R8	R9	R10	R11	R12
リサイクルショップ	制度検討	新制度で営業（年1回制度見直し）				
	現状営業					
リサイクル家具販売	改善検討	改善策実施（随時改善）				連携営業
		組合・和光市・事業者と協議				
イベント関係	新体制の検討・試行	新体制で事業実施				
啓発展示	現状継続（随時改善）					新施設へ
		環境啓発の内容検討	環境啓発展示			
啓発活動	新方針の検討・試行	新方針で事業実施				
建物関係 （市事務スペース等）	市全体の公共施設マネジメントに合わせて工事・移転実施					

以上

ごみ広域処理施設整備・運営事業の落札者の決定について

令和6年4月8日に再公告したごみ広域処理施設整備・運営事業に係る総合評価一般競争入札について、学識経験者等で組織する「ごみ広域処理施設整備運営事業者選定委員会」において審査した結果、最優秀提案者が選定されました。

朝霞和光資源循環組合は、事業者選定委員会の選定結果を踏まえ、下記のとおり落札者を決定しましたので報告します。

記

1 事業名

朝霞和光資源循環組合ごみ広域処理施設整備運営事業

2 事業期間

設計建設期間：事業契約締結日～令和12年3月31日

運営期間：令和12年4月1日～令和32年3月31日（20年間）

3 落札者

グループ名：カナデビアグループ

代表企業：カナデビア株式会社 東京本社

構成員：カナデビア環境サービス株式会社

協力企業：五洋建設株式会社 関東営業所

五十鈴建設株式会社

中央産業株式会社

株式会社ウィズウェイストジャパン

※日立造船株式会社は、令和6年10月1日にカナデビア株式会社に社名を変更しました。

4 落札金額（いずれも消費税及び地方消費税を含む。）

49,489,000,000 円

（内訳）設計・建設業務：33,262,900,000円

運営業務：16,226,100,000円

予定価格：49,489,000,000 円

5 審査結果

項目	配点	空グループ
グループ名	-	カナデビアグループ
代表企業	-	カナデビア株式会社 東京本社
事業提案に関する得点	60 点	40.65 点
入札価格に関する得点	40 点	40 点
総合評価値	100 点	80.65 点

6 今後の予定

令和 6 年 1 1 月 基本協定締結
令和 6 年 1 2 月 事業仮契約締結
令和 7 年 2 月 (組合議会議決後) 事業契約締結
令和 1 2 年 4 月 稼働開始

以上



施設の基本数値

エネルギー回収型廃棄物処理施設	
処理規模	175t/日 (87.5t/24h×2炉)
処理方式	全連続燃焼式(ストーカ式)
発電容量	定格出力3,590kW(発電機端)

マテリアルリサイクル推進施設	
処理規模	17t/日
処理方式	破碎・選別処理など

建築概要	
建築面積	6,445m ²
延床面積	12,172m ²

排ガス基準		
項目		基準値
ばいじん	g/m ³ N	0.01
硫酸化合物	ppm	30
塩化水素	ppm	50
窒素化合物	ppm	70
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.1
水銀	μg/m ³ N	30
一酸化炭素	ppm	30(4時間平均)
		100(1時間平均)

表中の数値はすべて酸素濃度12%換算値

提案のコンセプト

1

最新技術と実績をもとにした、安全・安心・安定の広域処理施設

2

地域に親しまれ、憩いの場となる施設

3

水害をはじめとする災害に強靱な施設

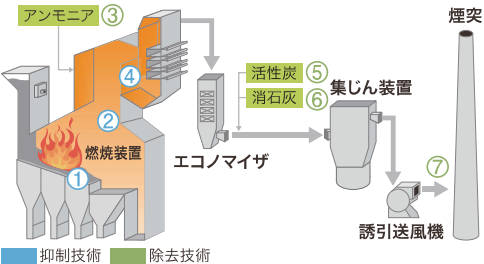
提案の特徴

1 最新技術と実績をもとにした、安全・安心・安定の広域処理施設

- 技術改善の実績に基づく、信頼性の高いストーカ炉を採用し、幅広いごみ質、ごみ量に対応します。
- 排ガス処理の最新技術を結集して、公害防止を徹底します。
- 遠隔監視・運転支援センターにより、本施設を24時間体制で支援し、安定稼働を維持します。



- 特徴
- 信頼性の高い焼却炉
- ごみ質の変動に強い燃焼装置
- ボイラ高温腐食対策
- 新型火格子
- 自動燃焼制御



① 対策 可変速連続制御の燃焼装置+自動燃焼制御	⑤ 対策 活性炭の供給
効果 NOx、CO、ダイオキシン類の発生抑制	効果 水銀、ダイオキシン類を安定除去
② 対策 低空気比・低NOx燃焼技術	⑥ 対策 高反応消石灰の採用
効果 NOxの発生抑制	効果 HCl、SOxを高効率除去
③ 対策 高効率無触媒脱硝装置	⑦ 対策 応答速度が速いレーザー式HCl濃度計の採用
効果 NOxの安定除去	効果 HClの安定除去
④ 対策 応答速度が速いレーザー式酸素濃度計による酸素濃度抑制	
効果 CO、ダイオキシン類の発生抑制	

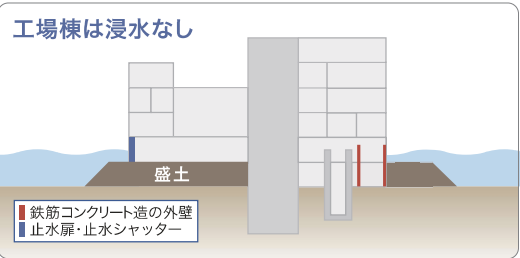
2 地域に親しまれ、憩いの場となる施設

- 敷地周囲に遊歩道と緑地帯を設け、自由に入りが可能で地域住民の憩いの場となるオープンスペースを整備します。
- SPCホームページを活用し、積極的に情報発信を行います。



3 水害をはじめとする災害に強靱な施設

- 盛土などによる複合的な浸水対策を実施します。
- 過去の経験に基づく、災害種別の強靱化対策を実施します。
- BCP(事業継続計画)の策定、災害種別に応じた行動指針を定めます。





本図書の全部または一部の無断複写複製を禁じます。

朝霞和光資源循環組合 様
朝霞和光資源循環組合
ごみ広域処理施設整備・運営事業

鳥瞰パース <北側>

受付グループ名：空グループ